

マーケットの動き（2020年9月28日～10月2日）

先週の国内債券市場は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。

期末期初を挟む週半ば以降は、国債残高積み上げ需要から金利低下が進む動きが剥落し、小幅に金利上昇圧力がかかる展開となりました。

しかし、週末はトランプ大統領の新型コロナウイルス感染報道を受けたリスクオフの動きから金利低下に転じました。

クレジット市場は、引き続き堅調でスプレッドは安定的に推移しました。

投資環境見通し（2020年10月）

国内長期金利はレンジ内で推移

コロナ禍で各国中央銀行による緩和的な金融政策の長期化が予想されますが、日銀は副作用に対する懸念からマイナス金利の深掘りに踏み出せない状況となっています。ただし、イーールドカーブ・コントロールは今後も継続されることから、国内長期金利は引き続き狭いレンジでの動きにとどまると予想しています。また超長期国債については、増発分と日銀の無制限買入で需給環境の悪化には至らず、日本経済の回復ペースの遅れを背景に金利上昇圧力は限定的と考えています。

	10月2日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	0.02	0.01	▲0.02	0.04	0.18
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	387.30	▲0.01%	0.29%	▲0.61%	▲1.47%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

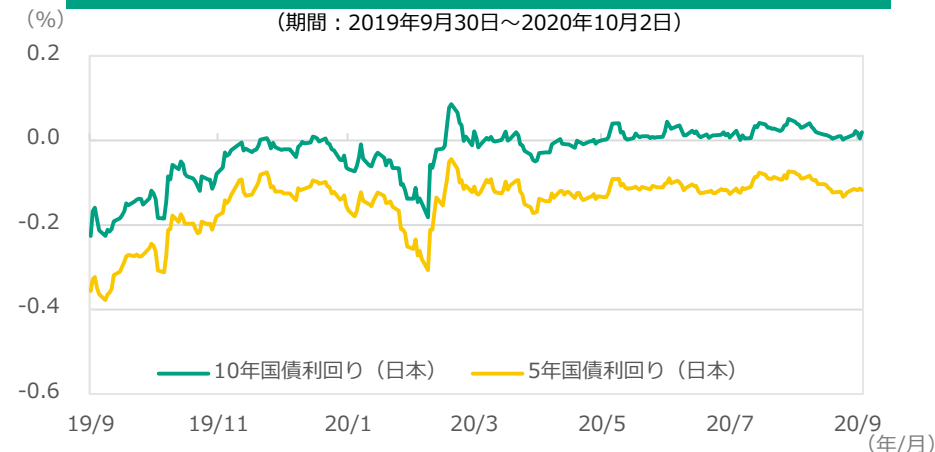
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202010_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日本国債利回りの推移

（期間：2019年9月30日～2020年10月2日）



野村BPI総合指数の推移

（期間：2019年9月30日～2020年10月2日）



※2019年9月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成